

輪ギクの出荷調整、加湿冷蔵が有効

長期保管でも鮮度保持

現場で使える！研究成果

表 長期冷蔵庫保管による花径の変化と日持ち日数					
試験区			花径 (mm)		日持ち日数 (日)
保管期間	切り前	加湿	入庫時	出庫時	
14日間	固切り	有り	23.0	24.7	19.9
14日間	慣行	有り	25.4	30.4	19.2
1日 (対照)	慣行	無し	25.2	26.1	21.8

夏場の輪ギク栽培では、近年の異常高温によって開花期が不安定となり、お盆などの需要期に合わせて出荷することが難しくなっている。早期開花した場合は、冷蔵庫で保管することで出荷時期を調整することが可能だが、長期保管を行うと花の品質が下がることが懸念される。そこで、冷蔵庫内を適切に加湿して鮮度保持効果を高める気化式加湿器を用いた夏場の輪ギク切り花の長期保管技術を検討した。

9月中旬開花作型の夏秋輪ギク品種「精の一

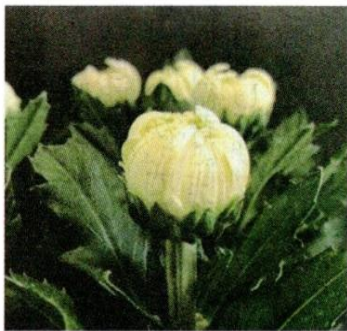
世」を、固切りまたは慣行の切り前Ⅱ写真Ⅱで収穫後90分に調整し、水揚げを行い、出荷箱に詰め気化式加湿器を稼働させた冷蔵庫で2週間保管した。対照として、慣行の切り前で収穫し、出荷箱に詰めるまでは同様の処理をした後、加湿器無しの冷蔵庫で1日保管した切り花を用いた。出庫後、50分に切り戻し、25度の恒温室で日持ち調査を行った。

その結果、保管中に加

湿することによって、2週間の長期保管でも日持



固切り



慣行

写真 切り前基準

ち日数は1日保管と変わらず、2週間の出荷調整が可能であった。また、慣行の切り前で収穫すると、保管中に花が開いてしまいうことから、長期保存を行う場合は固切りとすることで、品質を維持することができた。

(県農林技術開発センター

農産園芸研究部門 久村麻子)